

令和2年度 第5回定例教育委員会 議事録

■ 日 時 令和2年8月28日（金）午後1時00分～午後3時05分

■ 場 所 和東町体験交流センター 会議室

■ 出席委員 教育長 西 本 吉 生
教育長職務代理者 石 橋 常 男
委員 村 田 年 宏
委員 上 村 恵 子
委員 植 田 宏 和

■ 欠席委員 委員 0人

■ 説明員 教育次長 竹 谷 秀 俊
学校教育課長 竹 谷 正 則
生涯学習課長 南 和 昇
学校教育指導主事 鈴 江 伸 治

■ 事務局 教育次長 竹 谷 秀 俊
学校教育課課長補佐 城 野 成 子
学校教育指導員兼社会教育指導員
稲 垣 公 美

■ 傍聴者数 0人

■ 議事日程

- 日程1 議事録の承認
- 日程2 議事録署名委員の指名
- 日程3 会期の決定
- 日程4 諸般の報告について
- 日程5 議案第14号 令和3年度以降に使用する中学校教科用図書の採択について
- 日程6 議案第15号 相楽東部広域連合教育行政点検評価委員の委嘱について
- 日程7 その他

■ 議 事

西本教育長

ただ今から、令和2年度第5回定例教育委員会を開会します。

日程第1、「議事録の承認」を議題とします。第4回定例教育委員会の議事録は、事前に配布しております。お目通しいただいていると思います。議事録について、ご意見、ご質問をお受けしたいと思います。質問等のある方は挙手願います。

(各委員よりないとの声あり)

西本教育長

特に、ご意見、ご質問がありませんので、これを承認することとします。

日程第2、「議事録署名委員の指名」を行います。本日の議事録署名委員は、石橋委員にお願いします。

日程第3、「会期の決定」を議題とします。お諮りします。本定例会の会期は、本日、1日間にしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(各委員より異議なしとの声あり)

西本教育長

異議なしと認めます。従って、本定例会の会期は、本日、1日間に決定します。

日程第4、「諸般の報告」を行います。

まず、私から1番の府教委の教育長との懇談会、これ毎年、行われていますが、今年は8月20日に行われました。山城教育局管内は、2つに分かれております。北と南に分かれて、南の方は相楽と綴喜の5名ですが、井手町は不幸ごとがありましたから欠席ということでした。府の方は、教育次長と教育監と管理部長という形で出席をしてくれております。今年のテーマは、新型コロナウイルス感染症の対応についてということで、特に、ウイズコロナで取り組む教育活動についての意見交流をやりました。それが1つ目です。具体的には、学びの保障ということで、時間数が十分いけているかどうか、或いは授業方法がオンライン中心になってくると思うから、その辺りのオンラインと対面指導の関係、ICTの活用、それから学校における新しい生活様式、こんなところをお互いに意見交流をしました。2つ目が、京都府の教育振興プラン、これ10年目になります。10年前に策定されて本年度で一応終わりになりますから、10年先を見通した、令和3年度から10年間使う京都府教育振興プラン、これの骨子づくりが行われております。その関係で新しい振興プランの骨子案とか、盛り込みたい内容とかというところが、いわゆる中間報告が報告されました。例えば、育みたい力、展望する力、つながる力、挑戦する力があるのですが、これの見直しを図るとか、或いは重点目標が今のところ1から10まであるのですが、これをもう少し整理するとかいうところの原、原、原案みたいなものの報告がありました。いわゆるソサエティ5.0に向かって、これから新しい教育が始まるわけですが、

10年先は先ほども言いましたウイズコロナ、ポストコロナ、これとの絡みの教育活動になりますから、来年には新しい教育振興プランが出てくるわけですが、今はそんなところの報告でした。大きくはICT活用が当然中心になってきます。学校の強靱化とか個別最適化とか、それから高校改革、働き方改革などが大きな柱になっておるといふところまでは聞いております。以上が、諸般の報告1番です。2番、続いてお願いします。

竹谷教育次長

2番、令和2年第2回相楽東部広域連合議会定例会についてです。7月21日の午前9時30分から和東町議会議場で開催されました。一般質問ですが、教育委員会関係は、西議員から「ICT環境の整備について」と「小中学校の児童・生徒の減少について」という2点について質問がございました。それぞれ連合長と教育長が答弁をされました。平沼連合長からは、最初にICT環境整備の取組についてですが、「新学習指導要領において、情報活用能力を学習の基礎となる資質能力に位置付け、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ることに配慮することが明記されるなど、学校において、ICT環境の整備と活用が求められています。仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっており、社会を生き抜く力を育み、子どもたちの可能性を広げる場所である学校においては、今後ますますその重要性が増すことから、ICT環境の整備と活用に取り組んでいく必要があると考えています。」との答弁でした。教育長からは、「文科省はICT環境の整備の一環としてGIGAスクール構想を提起し、令和元年度から5年度までのロードマップを示し、この中でタブレット端末整備は5年度までに段階的に行うとしたこと、これを受けて教育委員会としましても構成3町村の理解と協力を得ながら令和5年度までに段階的に整備していく計画を立てたところです。ところが、コロナ禍により長期にわたる臨時休業を余儀なくされたことに伴い、児童生徒が自宅で学ぶオンライン学習等が必要不可欠となりました。学びの転換です。これに対応すべく文科省は当初の計画を前倒しして、本年度中に全学年児童生徒分、少なくとも小学校6年生と中学校3年生にはタブレットが行き渡るよう国庫補助金の予算を組みました。連合教育委員会としては、早急に一人1台のタブレット端末及び周辺機器を整備したく、この度の補正予算に組み込んだところです。なお、家庭におけるインターネット環境の整備状況については、学校ごとに5月に調査を行い、ネット関係未整備家庭を確認しました。今後、ネット整備が整っていない家庭にはモバイルルーターを貸与する予定で、この度の予算に各校の必要数を計上しています。」との答弁でした。2つ目の質問、小中学校の児童・生徒の減少につきましては、連合長からは、「管内の小中学校に共通した課題であり、3町村全体の問題であると認識しています。児童生徒の減少を食い止めるには、まずは若者や子育て世代の方々の定住や移住してもらうことが必要であると考えています。このため、連合においては、給食費や修学旅行費の無償化や校外活動費の全額補助などの取組を、構成町村においては、子育て環境の向上のための保育料の軽減や子どもの医療費の無料化・人口を増やすための移住・定住の促進などの取組を行っており、引き続き、こうした施策を進めていきます。」との答弁でし

た。教育長からは、「急激に社会が変化する中で少子高齢化が一段と進み、その上に相楽東部では、過疎化が加わり、学校教育活動の展開に大きな障害となっています。教育委員会としましては、特色ある魅力ある学校づくりを通して、この課題に立ち向かうべきであると考えています。管内の小中学校では、教職員が一体となって魅力ある学校づくりに奮闘しています。すなわち、相楽東部だからできる、相楽東部ならではの教育の実践を中心に努めているところです。一方、地域に開かれた学校づくりとしては、3小学校で地域学校協働活動を展開し、今年度はコミュニティ・スクールを導入しました。地域と一体となった人づくりです。このような魅力ある学校づくりに徹しているところですが、近隣の市町から連合の学校に通わせたいという声がなかなか届きません。教育の効果というものはじわーっと効いてくる漢方薬ではないかと思っています。次に越境入学・通学についてですが、学校教育法では、入学、通学する学校は、住所によって教育委員会が定めることになっており、越境入学、通学は例外となり、手続き上、違法が懸念される場合もあり適切であるとは言えません。もちろん正規の手続きによる越境入学もあります。1つは就労や家庭の事情により、また、保護者の意向や子どもの状況等により、教育委員会から指定された学校を連合内の他の学校へ変更したい場合は、指定学校変更に関する規則に基づいて就学校の変更を申し立てることができます。もう1つは、区域外就学という制度です。他の市町からの就学です。例えば、学期途中や卒業年度途中で転居した場合、近く転入予定のある場合、或いはいじめや不登校への対応などによるもので、関係教育委員会の協議によって許可されるものです。ただ、これらの理由に関わらず、近隣の市町の保護者からは是非連合の学校へという希望や申し入れがあれば、また、学校選択制をとっている自治体からの要望があれば、当然、受け入れるべく、当該教育委員会と積極的に協議に入りたいと考えています。」と答弁しております。その他、一般会計補正予算では、GIGAスクール関連予算（一人1台のタブレット端末及び周辺機器整備で8,513万2千円）、コロナ対策経費（マスクや消毒液等で204万9千円）、和東小学校通級教室開設諸経費で34万6千円、総額9,312万3千円が承認されました。なお、今回の補正予算の中で前年度事業に係る支出予算を計上しております。これは令和元年度歳出予算における支出不履行によるもので、文化財保護費の委託料31万5千円です。当該予算の概要ですが、事業名は平成31年度笠置山行在所跡清掃等管理事業（補助事業）と平成31年度笠置山六角堂跡清掃等管理事業（単費事業）です。契約期間は、平成31年4月1日から令和2年3月31日まで、契約相手は笠置寺奉賛会会長です。契約期間が令和2年3月31日までとなっていたため、同日付けで委託先より完了届の提出を受け、検査調書を作成・報告し、検査調書が戻ってきた後に支払いを行う予定でしたが、令和2年4月1日の人事異動に伴う事務引継において当該事務が漏れてしまったため、支払うことができませんでした。本年6月初旬に委託先からの問い合わせにより未払い状態であることが発覚、委託先には経過説明とお詫びをし、支払いの目途が立ち次第改めて連絡することをご理解をいただきました。なお、当該支払いについては、本年7月31日に振込を完了しております。以上が当該予算計上の経過説明です。以上です。

西本教育長

3番と4番は、学校教育課長から説明してください。

竹谷学校教育課長

報告の3番、令和2年度第1回相楽東部広域連はいじめ防止等対策委員会についてです。去る8月21日の金曜日、今年度の第1回相楽東部広域連はいじめ防止等対策委員会が開催されました。この委員会は、教育に関する学識経験者や臨床心理士、警察、弁護士、医師、小中学校の保護者等の12名により構成されており、当日は、1学期に行われた第1回いじめ調査の結果や今後のいじめ防止等の対策について話し合われました。第1回目の調査では、小中学校合わせて33件のいじめが認知されました。なお、調査から3か月が経過していないことから、解消、未解消の欄に件数は記載していませんが、個々の事案については、学校では聞き取りを行い、状況を把握するとともに、教職員で共通理解を図り、未然防止、早期発見、早期対応、早期解決に努めているところです。委員からは、「長期休業中にスマホを新たに持つようになった児童がいるので、今後、スマホを使ったいじめが出てこないか管理が気になる。」「アンケートで「いじめをなくすためにどのようにすればよいか」の問いに、「いじめられる側が態度を直す」を選択している子どもが未だいるのが気になる。」「長期休業中にオンラインゲームをするようになり、全く知らない他人とやり取りするようになった。自分の名前や年齢等を伝えたりすることで、今後、トラブルに巻き込まれたりしないか心配である。」「今後は、オンラインゲームやSNSの書き込みが課題ではないか。」等の意見が出されました。以上が報告3です。

報告の4番、令和2年度中学校体育大会及び小学校運動会の来賓（観覧者）の割振りについてです。9月12日土曜日に2中学校で体育大会が、また、26日土曜日に3小学校の運動会が開催されます。委員の皆様にご出席、ご観覧いただきたいと思いますので、本日、割振りの協議をお願いいたします。当日、雨天の場合は順延となります。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間短縮や接触を伴う演技の見直し等を行った上で実施することとしております。よろしくお願いいたします。以上です。

西本教育長

連合は予定どおり実施しますが、縮小という形でやりますのでご理解ください。それでは、運動会と体育大会の来賓の割振りを協議します。

石橋委員

欠席します。

（委員により「体育大会、運動会の出席の割振り等」を協議する。）

西本教育長

それでは確認をします。和東中学校は村田委員さん、笠置中学校は植田委員さん、笠置

小学校は上村委員さん、和東小学校は村田委員さん、南山城小学校は西本。私は全部廻ります。和東小学校は、バスの関係で開始時間が午前8時45分です。他は9時です。続いて、生涯学習課長から説明してください。

南生涯学習課長

報告の5番、和東町史編さん事業についてです。(1)の第7回古文書講座の案内についてです。第7回古文書講座を令和2年9月30日の水曜日、午前10時から11時30分まで、和東町体験交流センター・ホールで行います。テーマは「園村の上田家」です。江戸時代に上田家という和東を代表する家がありまして、そちらをテーマに開催させていただきます。講師につきましては、町史編さん室の渡邊専門員で、受講は無料です。それから(2)の展示「和東の歴史～戦争と旧小学校～」の案内についてです。和東町内に残っていた戦争に関わる古文書と旧小学校で保存されていた写真を展示いたします。古文書は当室の専門員が解説して説明をいたします。また、和東町の生き物も展示いたします。開催日時は、9月12日の土曜日と13日の日曜日、午前9時から午後2時までです。場所は和東町体験交流センターの2階、町史編さん室、和室、廊下です。

報告の6番、暮らしのデザイン事業「大人も道德」講座の実施についてです。こちらにつきましては、「道德の時間」が2018年より公立学校で教科となる中、大人の思いやりのない行動等が社会問題として深刻化しています。こうした中、子育て、孫育て、自分育てにも役立つ道德について、9月17日の木曜日、午前10時から11時30分まで、質疑応答を含む形で和東町体験交流センターのホールで開催します。定員は先着20名、講師は西本教育長です。是非とも教育委員さんにも参加をお願いしたいと思います。

報告の7番、読書活動推進事業「ブックカフェ」の実施についてです。ブックカフェですが、感動した本、お薦めの本等、各自が持ち寄って、本を紹介し合って情報や感想をフリートークで楽しんでいただきたいと思います。日時は9月18日の金曜日、午後6時30分から8時30分まで、笠置町産業振興会館の会議室で開催します。テーマは、2020年に読んだ本。参加費は無料です。よろしく申し上げます。

報告の8番、大人もW a k u w o r k体験事業「一筆画入門講座」の実施についてです。開催日時は、令和2年9月30日の水曜日、午前10時から正午まで、和東町体験交流センターで開催します。講師は、一筆画家の南山城村在住の金子晴美さんです。以上です。

西本教育長

報告事項は以上です。特に、ご質問等ありませんか。

村田委員

古文書講座ですが、今までは土日開催だったと思うのですが、今回は水曜日ですね。講師の関係か何かあるのですか。

南生涯学習課長

講師は和東町史編さん室の職員ですが、今回、一度、平日の時間帯にということで考えておりました、今後、様子を見ながら考えていこうと思っています。

村田委員

平日が多かった場合は、土日開催を止めて平日開催となるのですか。

南生涯学習課長

土曜日、日曜日、また、時間帯を午前とか午後とか、夜とか、色々試してみようと思っています。

村田委員

わかりました。

西本教育長

他、どうですか。よろしいですか。報告事項を終わります。

日程第5、「議案第14号、令和3年度以降に使用する中学校教科用図書の採択について」を議題とします。なお、この会議は、教科書採択の公正性と透明性に疑念を生じさせないように、採択の課程を公開することとしますので、ご理解とご協力をお願いします。議案を説明してください。

竹谷教育次長

議案第14号、令和3年度以降に使用する中学校教科用図書の採択について。上記の議案を提出する。令和2年8月28日提出。相楽東部広域連合教育委員会教育長 西本吉生。提出の理由。令和3年度以降に使用する中学校教科用図書の採択に関しては、本年7月27日に開催された山城教科用図書採択地区協議会において選定された教科用図書を採択致したく、承認を求めるものです。

竹谷学校教育課長

議案第14号について説明させていただきます。今年度は、学習指導要領改訂に伴う中学校教科用図書を採択する年となっています。山城教科用図書採択地区協議会の令和3年度以降に使用する中学校教科用図書に係る協議結果一覧を付けております。去る7月27日に第2回山城教科用図書採択地区協議会が開催され、各市町（広域連合）教育委員会からの採択委員の協議により決定されたものです。連合教育委員会からは、西本教育長と石橋教育長職務代理者が採択委員として出席しました。当日は、選定にあたり4つの観点から協議されました。一つ目は学力向上の視点、二つ目は公平性の視点、三つ目は若手教員でも授業で使いやすいかの視点、四つ目は児童生徒が親しみやすく、使いやすく、主体的・対話的に学習に取り組むことができるかという視点です。以上の点を踏まえ協議されました。協議会では、教科ごとに管内の教職員に教科用図書の調査、研究を依頼し、当日は各

教科の代表調査員から各社の特徴の説明を受けた後、採択委員から質疑が行われ、協議の結果、別紙のとおり採択されました。採択されました教科用図書を申し上げます。国語は東京書籍、書写は光村図書、社会の地理的分野は帝国書院、社会の歴史的分野は帝国書院、社会の公民的分野は東京書籍、社会の地図は帝国書院、数学は啓林館、理科は啓林館、音楽の一般は教育芸術社、音楽の器楽合奏は教育芸術社、美術は光村図書、保健体育は東京書籍、技術・家庭の技術分野は東京書籍、技術・家庭の家庭分野は東京書籍、英語は光村図書、道徳は廣済堂あかつきです。以上の16種が山城教科用図書採択地区協議会で共同採択されました。連合教育委員会におきましては、提出の理由で申し上げましたように、地区協議会において選定された教科用図書を採択したいということで、ご審議をお願いするものです。よろしくお願いいたします。以上、議案の説明とさせていただきます。

西本教育長

教科書採択の手続きについて課長から説明がありましたが、山城地区採択地区協議会で採択された教科書一覧を付けております。最終的な教科書の採択権は、それぞれの市町（広域連合）教育委員会にありますので、これに基づいて、連合教育委員会として協議をしていきます。山城教科用図書採択地区協議会には、委員として、私と石橋教育長職務代理者が、事務局として鈴江指導主事が出席しております。主な採択理由につきましては、鈴江指導主事から逐次説明をしてもらいます。それでは国語からお願いをします。

鈴江学校教育指導主事

採択理由につきましては、主なものから各教科2～3点にまとめて簡潔に報告をさせていただきます。まず、国語科は東京書籍です。三省堂も光村も優れておりますが、全体的に見て東書が一番ということになりました。1点目は「Dマーク」。いわゆる、パソコンで読み取って生徒が自学自習できるコンテンツです。これが主体的・対話的に学べる工夫で随所にあります。2点目は、各単元の配列が大変分かり易い。対話を促すキャラクターが登場して、基礎から応用まで生徒にとって親しみやすい、取っつきやすい、楽しいという紙面構成になっております。いわゆる思考・判断・表現の力が育つ工夫がなされているということでございます。以上です。

西本教育長

委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

村田委員

国語ですが、教科書が読めない子どもが沢山いるというふうなことを聞くのですが、子どもたちの語彙力とか読解力の弱さが課題の中で、読む力から読み取る力を高めるための工夫、そういう点、どういうふうな工夫がなされているのかということをお尋ねします。

西本教育長

児童生徒の語彙力とか読解力の弱さが指摘されているということですが、これは私も実際、身をもって感じているところです。東書では、いわゆるPISA調査や学力調査の結果から図表の読み取りや文章の読み方を意識したりするような、論理的思考力を促す教材を取り入れております。もちろん光村も読むことに関しては、文章とか情報を比較する、批判的に読む、評価する力を養うような工夫も見られますが、東書では、意識してPISA調査の結果を活かしているというところが特徴かなと思います。他、どうでしょうか。

植田委員

国語だけではないと思いますが、どの教科書にもGIGAスクール構想の一人1台タブレットを見越した活用が紹介されていると思うのですが、そのあたりで特徴的な教科書はありましたか。

西本教育長

鈴江指導主事からもありましたが、東書はDマークコンテンツを導入して、今回のコロナ禍みたいな緊急事態での対応はもちろん、今後も一人1台タブレット端末、実際に連合も本年度中に配備するわけですが、その辺りを見越して、最も分かり易く、簡単に活用しやすいように充実したものになっているのは東書ではないか。特に、巻末のDマーク一覧というのが設定してあるんです、東書は。これは使いやすいと思います。そこには音声とか文法ゲームとか映像とか、朗読なんかこれでできますから、使いやすいんじゃないかというのがありました。他、よろしいですか。

(各委員からよろしいとの声あり)

西本教育長

国語ですが、先ほどもありました東書の方は言葉の力をしっかり鍛える。言語活動の充実というのは府の重点にもあります。それから今言いました学力調査で明らかになった課題の克服に向けた学習内容が設定されています。それからDマークコンテンツ。こんなところです。それでは、国語は東書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。国語は東書といたします。続いて、書写をお願いします。

鈴江学校教育指導主事

書写は、光村図書です。書初めの見本はだいたい行書から始まるのですが、光村だけが1年生から行書に配慮して、しっかり書いているということでございます。2点目は、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という順番で、主体的に学習に取り組めるような工夫

がされています。3点目は、UD書体、いわゆるユニバーサルデザインフォントですが、これについて光村が一番詳しく説明し、紹介しているという点でございます。以上です。

西本教育長

委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

上村委員

書写は、書き方のことですね。

西本教育長

そうです。

上村委員

書写で身に付けた知識や技能を他教科や日常の生活に役立てるのが大事だと思うのですが、そのあたりの工夫が充実しているのはどの教科書でしょうか。

西本教育長

書写で身に付けた知識・技能を授業だけではなくて、それを他の教科に活かしたり、或いは日常生活に生かす、そういう工夫はそれぞれの教科書会社がやっているのですが、特に、生活に活かすことというのはどの教科書でも取り上げていますが、光村では学校生活の項目をあげて習得した知識・技能を様々な場面で活かせるように配慮しています。もちろん、学校生活ですから体育大会とか年賀状、壁新聞とか、こういう学校行事とか授業を意識した資料も載せているのが光村の特徴です。他、どうですか。

植田委員

書写ということなので、基礎的・基本的な知識や技能の習得を図るための工夫がされているのはどの教科書ですか。

西本教育長

基礎・基本の習得はそれぞれがやっているのですが、光村の場合は、書き順とか書写の書き写し用のページが充実しているのが特徴です。また、單元ごとに「学習の窓」というコーナーと言いますか、欄を設けて、基礎的な知識・技能を習得できるようにしています。光村は、「書写ブック」という別冊を付けています。先ほども少し説明がありましたが、学習の進め方が示されて、何をどう学ぶかという学習の見通しを持たせることで主体的な学習を促し、それから「考えよう」「確かめよう」「生かそう」で順次学習を進めていくこと、こういうことが配慮されています。よろしいですか。

(各委員からよろしいとの声あり)

西本教育長

書写につきましては、光村の教科書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。書写は光村といたします。続いて、社会の地理です。

鈴江学校教育指導主事

社会の地理的分野は、帝国書院です。最初に効果的な導入がありまして、次に課題が明示され、最後に振り返るという3段論法の設定で、大変分かり易いです。具体的には、見開き2ページで構成されておりまして、最初に「確認しよう」で前の単元を示されて、「説明しよう」で既に習った知識を使って課題を設定し、「振り返ろう」で最後にまとめるという3つで構成されています。2点目は、單元ごとに日本各地のマップが付いている。世界の方についても、世界全体を比較したりまとめたりしている。加えて衣食住を扱ったり、内容が暮らしと関わったりしており、日本や世界を理解するための様々な工夫がされている。3点目は、紙質が良い。眩しくない色で、文字が見やすく写真の色も鮮やかであるという点でございます。以上です。

西本教育長

委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。私の方からですが、生徒が使いやすい、教師にとっても指導しやすい、これは地理だけではないのですが、大事な視点だと思います。特に、帝国書院は、各単元の最初に写真を2ページ分掲載して個別の内容を一つずつ取り上げ、大変使いやすく、そして分かり易いように構成されています。それからサイドにインデックスを付けています。インデックスを付けてページが開きやすい工夫がされている。また、分かりにくい用語の解説欄、これも丁寧で、教師の指導にも役立つのではないかと。そんなところから帝国書院がいいのではないかなと私も思っております。他、どうでしょうか。

村田委員

山城管内の中では、「やましろ授業スタンダード」を設定しながら、それぞれの学校の方でそれに基づいてやっていると思うのですが、最後「振り返り」ということで、自分が学んだこととか、感じたこととか、これからどういう形で学んでいこうとか、興味のあることとか、調べたいとか、そういうふうになると思うのですが、その辺の振り返りのことについて、次につながられるような特徴的な教科書はありましたか。

西本教育長

山城管内は、今、村田委員からありましたように、授業スタンダード、これを重点的に取り組んでいるのですが、特に、めあての確認、それと振り返りです。どちらも大事ですが、「学びの振り返り」というところでは、帝国は学習の流れを見通し、授業展開、それから振り返り、こういうふうを設定しています。特に、振り返りを大事にしているなというのは感じました。そこでは資料や大切なキーワードを多く提示して、定着を図るような工夫がされています。また、課題である思考力・判断力・表現力、これも今育成を言われているところですが、それも前面に出して追究課題を整理させる工夫もみられます。QRコード、これも沢山設定されています。そんなところかなと思います。それでは社会の地理的分野につきましては、帝国書院の教科書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、社会の地理的分野は帝国書院といたします。続いて、社会の地図です。

鈴江学校教育指導主事

社会の地図も帝国書院です。地図は、帝国と東書の2社のどちらかということになるわけですが、帝国はA4サイズで大きく見やすい。更にイラストや俯瞰図があって、大変取りつきやすく見やすく分かりやすい。更には調べやすい構成になっています。2点目は、QRコードが帝国には随所に示されていること。3点目には、指導する上で、地理と地図は同じ会社の方が指導しやすいのではないかとということでございました。以上です。

西本教育長

地図は2社です。帝国と東書。地図というと我々子どもの頃からずっと帝国で馴染んできましたから、確かに見やすいし使いやすいです。委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

植田委員

今の話にもあったように、地図は見やすさ使いやすさが何よりも大事だと思いますが、生徒にとってどのような工夫がされているのか教えていただきたいです。

西本教育長

代表調査員からの説明にあった中で、帝国というのは大きさがA4サイズです。東書に比べて圧倒的に掲載の地図範囲が広いということで、見やすく扱いやすくなっています。色合いや色彩も馴染んでいるということもあるかと思います。そこで帝国の特徴は世界の

一般地図に同緯度同縮尺の日本列島が書き込まれています。だから比較しやすいです。世界地図でアフリカの地図があったとして、日本と比べたらどれくらい大きくなるのかとか、そういうのがよくわかりますから使いやすいです。視覚的に比較できるような工夫をされているのが帝国ではないかなと思います。他、どうですか。

上村委員

学力の基礎となる資料活用能力を養う工夫がされているのは、どの教科書ですか。

西本教育長

社会科で大事な視点としては、要は資料を生徒がいかに関活用していくかということです。これが大きな視点になっています。帝国書院は、先ほども言いましたがQRコードが地図上の随所に見受けられます。ということは、パソコンを使って動画や統計資料などのコンテンツを活用して学習が進められるようになっていきますから、生徒自身が資料を活用して学習を進めていくという効果が帝国は高いのではないかとされています。他、よろしいですか。それでは、社会の地図につきましては、帝国書院の教科書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、社会の地図は帝国書院といたします。続いて、社会の歴史的分野です。

鈴江学校教育指導主事

社会の歴史的分野は、帝国書院です。今回、東書から帝国に変わりました。これで地理、地図、歴史は帝国となります。1点目は、山川は詳しくすぎるのでは、東書は簡略化し過ぎるのでは、その中で帝国が中間の記述であるということでございました。2点目は、冒頭に資料を掲載して、最後に確認をするという形で分かり易い。しかも記述内容が大変詳しく、徐々に深まっていくという構成になっています。3点目は、先ほどと一緒に、随所にQRコードがあって、動画などのコンテンツが利用できます。加えて、ページごとに時期と時代が分かる年表というのが付いていて、これが大変分かり易いということでございます。以上です。

西本教育長

委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

村田委員

歴史の教科書は、歴史の流れとか、そういうふうなものがなかったらなかなか子どもが

取っつきにくいんじゃないかなと思うし、また、家庭学習、家に帰ってからもできるような、そういう工夫がされているものがないかなと思うんですが、自主的に歴史学習に取り組むことができるような配慮がされている教科書は、どの教科書ですか。

西本教育長

今も出ていましたように、これからの家庭学習は、第2波、第3波のコロナになってきたら、家庭で子どもたちが自主的に勉強するというのが、これは歴史だけじゃなくて大事な点になってくると思います。そういう面では、自主的に子どもたちが勉強することになったら、今も説明しましたように、帝国書院はQRコードが頭に付いています。これで学習理解を助ける動画などのコンテンツが見られるように配慮されています。更に、タイムトラベルのページでは、QRコードにより生徒自身が解答や解説を見ることができます。こういうことから、生徒が家庭でも自分で取り組んでみるというところはやっぱり帝国が優れているんじゃないかなと思います。他、どうでしょうか。社会科は、地図、地理、歴史にあと公民が関連しているわけですが、特に、他領域との関係とかいうことになってきましたら、帝国では、地図、資料、グラフなど地理や公民分野と関連する内容が充実しています。また、環境、交流、人権。人権なんかも大事なところですが、平和に関するテーマでコラムが掲載されているところとか、歴史の中で差別された人々の暮らしや背景についても理解を深める工夫が施されているというところが特徴ではないかなと思っております。ということで、社会の歴史的分野については、帝国書院の教科書を採用することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、社会の歴史分野は帝国書院といたします。続いて、社会の公民的分野です。

鈴江学校教育指導主事

社会の公民的分野は、東京書籍です。最初に導入がありまして、次に課題、そして活動と続いていまして、最後にまとめという形で、ここも単元を貫いた構造化というのがなされています。特に、思考・判断・表現を育てるために単元のまとめというのを大変重視した紙面構成になっています。2点目は、「スキル・アップ」という思考ツールが9項目、「みんなでチャレンジ」という共同学習が21項目あって、これは「主体的・対話的」への工夫と言えます。以上です。

西本教育長

委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

村田委員

公民でも主体的に学ぶというのが大事だなと思います。また、子どもたちが時事問題とか色んな分野で分からないことが結構出てくるのではと思うのですが、その辺、子ども同士が対話的に学び合えるような、その部分の授業展開ができるような工夫がされているのは、どこの教科書ですか。

西本教育長

主体的・対話的というのは今回のキーワードになっていますから、それぞれの会社がかなり対話的というのに力を入れています。東書では、自ら課題を発見し解決する能力を養うために、節のはじめに「探求のステップ」という欄、ここで学習の段階を理解できるようにして興味・関心を高め、単元を貫く学習に取り組めるようにしています。また、グループによる協働的な活動、今言う対話的なところですが、グループによる協働的な活動を求めるコーナーとして、「みんなでチャレンジ」というのを作っています。ここで対話的な学習に取り組みやすい工夫がされています。

植田委員

教科書の中で、表記とか表現の工夫にも力を入れているのではないかなと思われるのですが、その点で特徴的な教科書はどこか教えていただけますか。

西本教育長

これも東書がやっぱりよかったのではないかなと思います。単元をカラーで分けて、見やすさを意識しています。それとフォント、ユニバーサルデザイン、それからフラットデザイン、こういうのを採用して読みやすく学びやすいように配慮されております。生徒が集中して学習に取り組むことのできる教科書ではないかなというふうに思います。他、よろしいですか。それでは、社会の公民的分野については、東京書籍の教科書を採用することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、社会の公民的分野は東京書籍といたします。
それでは、午後2時10分まで休憩します。

(10分間休憩)

西本教育長

休憩前に引き続き会議を続けます。それでは数学をお願いします。

鈴江学校教育指導主事

数学は、啓林館です。今回、大日本から啓林館に変わりました。理由は、2部構成になっておりまして、1部がみんなで学ぶ、もう一つは自主的に学ぶということで、2本立てになっていて、自主学習をしようとする場合には、内容が後ろに付いているQRコードを開くと解答・解説があって、丸付けができます。いわゆる、自学自習ができるという工夫になっています。2点目は、章末問題が2ページ、発展問題が2ページ、合計4ページと沢山あって、先ほどの家庭学習にも対応できるよう充実しています。3点目は、今回、新しく1年生から素因数分解というのが入りました。例年どおりであれば、正の数・負の数の後ろに素因数分解が入る方が分かり易いと。そういう意味では啓林館はそういうになっていますが、ちなみに素因数分解が先に来ているところが3社ほどあったということで、調査員によりますと啓林の方が分かり易いのではないかとということでございます。以上です。

西本教育長

啓林は総合的に見て、色んな所で優れているのではないかとというのが代表調査員の話でした。委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

村田委員

家庭学習の時間が30分に満たない子どもの割合が統計的に増加傾向にあると聞いていますが、やろうという意欲、分からなかったらやらないと思うのですが、復習問題とか練習問題の質とか量とか家庭学習の充実に対応できるような、そういう教科書はこの会社ですか。

西本教育長

家庭学習の時間が30分に満たない子どもというのは、学力テストのアンケートのところでも出てきています。和東中学校は、かなり前から「家庭学習、目標1時間」という形でやっています。やっぱり家庭学習と言うのは大事だなと思っています。その点は、私も見たのですが、確かに啓林は練習問題が多くて、教科書だけで他の教材を準備しなくても教科書だけでしっかりと基礎・基本の力が身に付くようになっています。そして、章末問題についてはQRコードを用いたら、私も実際にQRコードを見たのですが、問題の解き方と解説、これがあって自分で答え合わせができるようになっています。これはやっぱりすごいと思います。だから、QRコードを見たら、解答はすぐ出てくるのですが、解き方もきっちり啓林の場合は載せています。だから、自分で、家庭で主体的な学習が出来るというのは大きいと思いました。他、どうですか。

植田委員

数学科の目標に「数学で学んだことを生活に活かす」ということが掲げられていますが、数学の学びを社会につなげるという視点ではどうでしょうか。

西本教育長

それぞれの会社が授業で学んだことを、これは数学だけの課題ではないですが、理科でもそうですが、授業で学んだことを日常生活でどう活かしていくかというところなんですが、啓林では、要所・要所に「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」、こういう欄を設けています。学んだことを表現することで理解を深め、学びを広げる工夫が施されています。また、「学びを活かそう」とか「数学ライブラリー」、こういう欄を設けて日常生活や他教科等との関連する問題を取り扱っています。これも特徴かなというふうに思います。他、いいですか。それでは、数学については、啓林館の教科書を採用することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、数学は啓林館といたします。続いて、理科です。

鈴江学校教育指導主事

理科は、啓林館です。横長で図や写真が大きいです。文字の大きさも色んな場面を変えていて、大変見やすいということでございます。2点目は、啓林は、学図もそうなんですが、QRコードですぐに調べられます。ところが東書とか教出はホームページから入らないとたどり着かない。更に大日本は専用のアプリをインストールしないと見られないというふうな、ちょっと手間がかかります。そういう意味では啓林はすぐに見られます。3点目は、他教科との関連でございますが、特に、巻末に算数とか数学の考え方を他教科と比較して確認する機会を設けております。これは大変大事です。小学校の算数のつまずきを学び直すという意味では、大変詳しく取り扱われています。以上です。

西本教育長

最後の理由、数学との関係です。私も実際この教科書を見た時に、理科でよく使う算数・数学のコーナーというのを作っているんです。これは小学校の教科書も啓林ですからその辺りのつながりという意味では上手く、確かに啓林はつながりを考えているんだとは思いました。理科でよく使う算数・数学を説明している教科書は、以前はなかったんじゃないですか。委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

村田委員

理科離れというのは今に始まったことではなくて昔からあるものですが、科学への興味・関心を高めるための工夫がされている教科書はどこですか。

西本教育長

ずいぶん前から言われているのですが、どの教科書も身近な現象から必然性のある課題につなげる問題解決的な学習、これが展開できるようになっています。特に、啓林館は、単元の導入時に生徒の興味関心のために写真とか資料を多く取り入れています。そこで主体的に課題を見いだせるような工夫をしています。また、「サイエンス資料」などで探求の仕方をサポートしています。そういうところから科学的に探究する力、科学的に探究する態度を養おうというところに迫っているのではないかと思いました。他、どうですか。よろしいですか。

(各委員からよろしいとの声あり)

西本教育長

それでは、理科については、啓林館の教科書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、理科は啓林館といたします。続いて音楽です。音楽は一般と器楽がありますが、これを一括して協議をしたいと思います。

鈴江学校教育指導主事

それでは、まず、音楽の一般です。教育芸術社、教芸です。これは教芸と教出の二者択一となるのですが、教芸はSDGsがある。これは持続可能な開発目標のことですが、1つはSDGsがちゃんとある。2点目は、表紙から斬新なアニメがあって生徒がワクワクする。皆さんが知っている馴染み深い人からのメッセージで引き付ける。更には、各ページにキャラクターが出てきて、気づきのヒントというのを小出ししながら、「こう気づけばいいんだよ」ということで、非常に主体的な学びを促しているという点でございます。3点目は、鑑賞とか写真があるわけですが、それを通してかなり広がりのあるような指導内容が組み込まれております。次に音楽の器楽ですが、これも同じく教育芸術社、教芸です。理由は、ビジュアルとか写真、イラストというのを上手に組み合わせしております。2点目は、アルト・リコーダーだけではなく、ソプラノ・リコーダーにも対応しています。3点目は、先ほどの一般とよく似ていますが、気づきのヒントがちょこちょこあって、大変分かり易いということでございます。以上です。

西本教育長

音楽も2社です。委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

植田委員

今、言われたように音楽は2社ですが、表現や鑑賞など、生徒が主体的に取り組むことができる配慮がされているのは、どちらの教科書でしょうか。

西本教育長

一言で言いましたら教芸です。「深めよう音楽」というコーナーを設けています。そこで主体的・対話的で深い学びが実現できるように構成されています。とりわけキャラクターの吹き出しですが、先ほど鈴江指導主事からありましたように、その吹き出しが生徒の気づきを上手く引き出す、そういう手助けになっているんじゃないかなと思います。器楽においてもイラストと写真を上手く使い分けて、より主体的に学べるように工夫されているのが教芸ではないかと思っています。それから国歌の取り扱いがちょっと違っていています。教出は歌詞の大意、歌詞の意味を載せています。教芸は国歌・国旗と国際的儀礼という新しい視点で掲載されており、オリンピックやパラリンピックの写真とともに、生徒が身近にとらえ得るといっているのが教芸でした。他、よろしいですか。

(各委員からよろしいとの声あり)

西本教育長

それでは、音楽については、一般も器楽も教育芸術社の教科書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、音楽は一般も器楽も教育芸術社といたします。続いて美術です。

鈴江学校教育指導主事

美術は、光村図書です。3社ありますが、今回、日文から光村になりました。光村の理由は、1つは副読本が入ってしまして、別途、買わなくてもいいと、大変便利であるということです。2点目は、使う資料集が大変いいと、充実しています。更に、制作工程が写真で分かり易く例示されているという点です。3点目は、小中のつながりで言いますと、図工から美術への移行を明確に書いているという点です。以上です。

西本教育長

これまで日文だったのですが、委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

村田委員

各教材における「学習の目標」が明確にされているのはどの教科書ですか。分かりやすいのはどの教科書ですか。

西本教育長

3社ともに各教材の学習目標を分かりやすく提示しています。とりわけ光村は、鑑賞も大きな領域なので、鑑賞するときのポイント、表現の工夫のポイントなどを必要に応じて提示しています。そういう意味では学習の目標がはっきりしているかなと思います。特に、1年では先ほどもありました図工と美術のつながりです。ここから中学校は美術をやるんですよって、その辺りの説明といいますか、そこが充実しているのはやっぱり光村でした。それから代表調査員が言っていた中では、資料集、実際に教科書があつて資料集は別で買っていたわけです。でも、資料集が充実しているからそれを買わなくてもいいと、光村は経済的だと調査員が言っていました。保護者負担の軽減から言ったら、教科書があつたら十分いけるというのは、これは魅力だと思います。他、よろしいですか。

(各委員からよろしいとの声あり)

西本教育長

それでは、美術については、光村図書の教科書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、美術は光村図書といたします。続いて保健体育です。

鈴江学校教育指導主事

保健体育は、東京書籍です。シンプルな文章でまとめられていて、見やすく資料も豊富であるという点が一番大きいです。2点目は、中身が、保健編が先にあって次に体育編が続いている。こういう流れになっているのが東京書籍です。そちらの方が分かり易いというのが委員の意見でした。他社は体育が先にきて、次に保健という並びになっています。3点目は、新指に沿って、動画で技能を確認できるデジタルコンテンツも大変豊富であるということです。最後、4点目ですが、他教科との関連も書いていますし、日常のつながりも書いていて、大変分かり易いです。このことは深い学びが期待できるという点でございます。以上です。

西本教育長

東京書籍は、本当にDマークコンテンツというのが充実しています。今も説明がありましたように、他教科との関連にかなり力を入れています。だから、東書はもちろん色んな教科の教科書を作っていますから、それが、つながりを持っているから、保健体育の中でも理科とか社会とか家庭科とか、そういう絡みで色んな教材と関連させているのが東書の

特徴です。委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

村田委員

「学習の流れ」という視点で各社を比べた場合、子どもにとっても指導者にとっても使いやすい、分かり易い教科書というのはどこでしょうか。

西本教育長

私もその視点で見たのですが、やっぱり東書かなと思います。東書は、学習の流れとして「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」と、この4つを設定し、その流れに沿って学習が進められるように配慮されています。「学習課題」の設定によって授業のめあてを確認して、「課題の解決」で知識・技能の習得ができるようになっていきます。そこから更に「広げる」というところに持っていきます。そこで思考力・判断力・表現力を育成していく、そういうスムーズな学習の流れになっているのかなと思います。調査員が強調していたのは、鈴江指導主事からもありましたが、体育編・保健編という他の3社はそういう並びになっているのですが、東書だけが保健編・体育編の並びです。これも生徒や指導者にとっても分かりやすい構成かなと言っていました。他、どうですか。よろしいですか。

(各委員からよろしいとの声あり)

西本教育長

それでは、保健体育については、東京書籍の教科書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、保健体育は東京書籍といたします。続いて、技術・家庭の技術分野です。

鈴江学校教育指導主事

技術・家庭の技術分野は、東京書籍です。3社ありまして、内容的はほとんど近づいているということでした。技術専門の先生が最近少ない中、教科書頼みになっている場合が多いと、そういう意味で指導者にとっても生徒にとっても分かりやすく資料の豊富なのは東京書籍であるということです。一般的には、シンプルでやり易いものと、シンプル過ぎて難しいものがあるそうですが、東京書籍は非常にやり易いということでした。2点目は、全体的に「導入」「基本」、そして「まとめ」ということで、分かりやすい構成で、丁寧に細かく書かれていて、知識の定着というのが図れるということでした。以上です。

西本教育長

技術の教科書は、我々が技術の勉強をした時と全然違うようです。きれいだし、中身から言って、今の中学生はこんな教科書を使って勉強をしているのかと思いました。特に、ICT関係のところなんて本当に我々についていけないほど、教科書そのものがすごいというふうに思いました。委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

村田委員

この技術科と他教科との関連というのは、私、ちょっと分からないのですが、結びつきが大きい教科書という評価は微妙だと思うのですが、他教科との関連で色んな特徴的な教科書はどこでしょうか。

西本教育長

ここもやっぱり東書です。東書は各章のはじめのページに「他教科とのつながり」という項目を付けています。だから導入した時に、そこでこれは技術だけでもこれとつながっているんだらうと、こういうのを頭に付けています。東書は。それで関連内容、学年・教科、例えば小学校の理科の何々とか、こういうことも付けています。そういう記載をしています。生徒にとっても、指導者にとっても、それで関連がよく分かりますから、活用しやすいのではないかなというふうに思いました。また、これは頭のところですが、更に各編のページで「リンク」「小学校」「他教科」、他教科と言っても理科に社会に保健体育、数学、それから道徳などです。こういうマークが付けられていて学習内容の関連を図るとともに、教科横断的な学習もそれで進められるという、これは大きな特徴かなと思います。他、どうですか。

植田委員

技術ということなので、作業を伴う学習活動、あと情報や栽培に係る学習における安全面の配慮などは大事だと思うのですが、各社はどのように取り扱っていますか。

西本教育長

この技術における安全確保というのは本当に大事なところで、それぞれ教科書で提示をされていて、まとめて安全指導をするところと單元ごとに「ここではこういう注意をなさいよ」というような、そういう特徴があります。東書では、安全については学習はじめのガイダンス、これを2ページ使って丁寧に説明しています。あと、今も言いましたように実習内容に合わせてそれぞれ取上げています。また、各作業場面では、「安全マーク」というのを教科書に入れてあります。安全マークを入れて注意喚起をしています。栽培は栽培の安全を、情報分野でも安全のところも触れています。それが特徴ではないでしょうか。よろしいですか。他、いいですか。

(各委員からよろしいとの声あり)

西本教育長

それでは、技術・家庭の技術分野については、東京書籍の教科書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、技術・家庭の技術分野は東京書籍といたします。続いて、技術・家庭の家庭分野です。

鈴江学校教育指導主事

家庭分野は、東京書籍です。技術と同じく、今回、開隆堂から東京書籍に変わりました。授業は1冊を3年間で教えるのですが、その内容構成は家庭科ABCの3つあります。Aが「家族、家庭生活」、Bが「衣食住」、Cが「消費生活、環境」となっているのですが、東京書籍だけが「衣食住」で始まるBCAという配列になっております。これは、代表委員によりますと、自立から共生へと、将来へきちっとつながっているのがよいということです。2点目は、導入とかまとめにキャラクターが登場して、見方とか考え方を深める「大切なメモや豆知識」というのがあって、ここは大変、見方・考え方を深めさせてくれます。加えて、他教科との関連とか小学校との関連も掲載して基礎的な定着を図れるようになっています。最後、3点目ですが、付録は各社色々工夫をしているのですが、東書の付録は「防災・減災手帳」とか「子どもの視界体験眼鏡」というのがあって、この付録が大変よいということで、評判です。以上です。

西本教育長

調査員が強く言っていたのは、最初に説明のあった領域の順番が、今言いましたようにBCA、これが使いやすいと強調していました。自立から共生というストーリー性を重視したというふうに言っていました。生徒にも指導者にもそれが分かりやすいのではないかというのが一つの視点だということです。委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

村田委員

衣食住における日本の伝統文化の尊重と異文化への理解ということについて、特徴的な教科書はどこですか。

西本教育長

それぞれ和食とかを取り扱っていたと思いますが、東書では、「和食・地域食材」「和服」

「住まい」、こういうところで日本の伝統を扱っています。それだけではなくて、他国からの物も紹介して異文化理解へつなげています。これも特徴だと思います。細かなところで言いましたら、だしを用いた煮物とか汁物とか蒸料理とか、そういう扱いもしているというのが東書の特徴かなと思います。衣食住とか、今、伝統文化に京都府は力を入れているところです。他、どうですか。

植田委員

最近目まぐるしく色々変わる現代ですが、現代的課題への対応として、こんな教材を取り上げているといった、そういう特徴的な教科書はありますか。

西本教育長

今回の教科書で言いましたら、現代的な課題としてはSDGs、これは家庭科だけじゃなくて社会科の公民的分野も、いわゆるソサエティ5.0につながる社会といいますか、持続可能云々というところが今一番課題になっているのですが、この辺りを取り上げています。東書だったら、共生社会を取り上げて高齢者との関わりを考えさせたり、また、今言いましたSDGsを取り扱って、「持続可能な社会を目指して」、こういうタイトルで取り扱っています。その中で持続可能は食生活、持続可能は住生活、消費生活、こういう意味です。それで最後、章末で持続可能な社会を目指そうと、教科書の一番後ろにそういう欄を設けています。だから、これからはこれもキーワードでしょう。「持続可能な社会を目指す」という。それが特徴です。今はもう正に家庭科だけじゃないんです、今は。社会科でもかなりこのことを重視して扱っています。他、よろしいですか。

(各委員からよろしいとの声あり)

西本教育長

それでは、技術・家庭の家庭分野については、東京書籍の教科書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、技術・家庭の家庭分野は東京書籍といたします。続いて英語です。

鈴江学校教育指導主事

英語、光村図書です。英語については、まず6社から3社に絞られて、次に光村と東書が残り、最終、総合的に見て光村がよいのではとなったそうです。東書もよくできているのですが、情報量が多くて、全て教えられるかということでは、教師の創意工夫がしにく

いと。一方、光村はしぼりがなく、創意工夫も含め、使いやすいという利点があります。2点目としましては、繰り返しの「R e t e l l」というのが取り入れられておりまして、要約したページがあって、絵を見て、学んだことをもう1回トレーニングができる仕組みがあります。3点目は、各ページにQRコードがきちっとあります。最後、4点目ですが、新指に合わせて、これから大きく英語教育を変えていこうとするには、これまで28年間使ってきた東書を変えて、中学校も1からの努力が重要ではないかという意見もございまして、光村ということになりました。以上です。

西本教育長

今までは、東書です。ニューホライズンです。今回、新指に変わるのだから思い切って教科書も変えたらという一つの視点と、いや、やっぱりこれまで大事にしてきた東書にこだわりを持つというような委員さんもいました。その中から取りあえず1回変えてみようかということになった訳ですが、ただ、単に長いから変えるという意味で変えるというのはおかしな話です。特に、小学校で英語の授業が本格的に始まったということもありますので、そんなことも含めて、委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

村田委員

小学校でも英語科の授業をやっているのですが、小・中学校間のつながり、この部分がスムーズにいくということが非常に大事なと思うのですが、その辺のことを意図して、十分配慮されている教科書はどこでしょうか。

西本教育長

これは先ほども言いましたように、各社とも1年生の最初の学習で小学校との接続の単元を設定しています。その中でも特に丁寧に扱っているのは東書かなって調査員も言っていました。他のところは皆一緒です。他社は太字で明示しているところでしょう。今回、光村のよいところというのは、もちろん、各社とも4技能（聞く・読む・話す・書く）、「話す」は「やり取り」と「発表」の2つに分かれますから、この5領域になるのですが、これらをバランスよく総合的に育成できる構成という、これはそれぞれにやっていますが、中でもこの光村の教科書は、出会いから、学校生活、別れまでの3年間の流れ、入学式から卒業までというストーリー性を持っているというのか、これで子どもも親しみやすい。身近な話題をもとに本文が作られているので、生徒が興味を持って、楽しみながら学べるという配慮がされているとの代表調査員の意見でした。他、どうでしょうか。

植田委員

授業を英語で行うように指導者、先生に求められています。先生にも扱いやすい・使いやすいと思われる教科書はどこでしょうか。

西本教育長

やっぱり東書と光村、比べてみると、この2つになるでしょう。東書の方は解説も細かく、作りも丁寧で本当によくできています。ただし、先ほどの説明にもありましたように、情報量が多くて内容は盛りだくさんで、全てを教えきれないのではないかと、ということは裏を返せば教師の創意工夫が施しにくいという、これが1つ言われています。それに対して光村は、4技能5領域をバランスよく育成するための工夫がされていて、指導者にとっても使用しやすい構成になっているというところです。だから、東書と光村の違いというのは、情報量の違いで教えきれないというところです。言い方を変えれば、教師の創意工夫の余地があるかどうかは今回の大きなところですね。山城地区協議会でも、他の教科は代表調査員の説明でトントントンといったんですが、英語については、やっぱり急に変わるというのがありますから、ちょっと色んな意見とか出ていました。他、どうですか。よろしいですか。

(各委員からよろしいとの声あり)

西本教育長

それでは、英語については、光村図書の教科書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、英語は光村図書といたします。最後、道徳です。

鈴江学校教育指導主事

道徳は、廣濟堂あかつきです。最初にある題材名が、あかつきは題名だけであるということで、題名の横に内容項目とかあらすじなどが書いていないということが1つです。2点目は、別冊ノートというのがあるって、これはあかつきと日文だけですが、この別冊が大変補足資料も入っていて、内容を深めていくことができます。大変有意義なものだということです。3点目は、教材が分散的に配置されておりまして、内容項目ごとに振り返りができるという構成もあります。加えて、いじめ問題とか現代的な課題の内容も組み込まれているという点でございます。以上です。

西本教育長

廣濟堂あかつきは、現場も皆満足して使っているのではないかなと思っています。特徴的なのは、鈴江指導主事からありましたように別冊のノートが違うということと、1つは内容項目を示しているかどうか、タイトルがあって内容項目を頭に付けているか付けていないかによって、これは授業の進め方が全然違います。私は、例えば「正義・勇気」とか

が書いてあったら、「今日は正義・勇気の授業か」となるわけです。そうじゃなくて、教材名だけであって、そこから授業に入り、最後になって今日は正義・勇気ということについてだったのかと、そちらの方が自然です。これは私の個人的な。委員の皆さんから、ご意見、ご質問をお願いします。

村田委員

この別冊の道徳ノート、ここの部分が非常に大事で、最後の自分の振り返りとか生き方についての考え方とかそこらの部分を深めたりする。いわゆる「深い学び」に結びつくのではと思いますが、その辺のより効果的になっているのはどちらのノートでしょうか。

西本教育長

ノートのねらいというのは日文とあかつきは全然違います。日文の道徳ノートというのは教材とリンクしています。中心発問があって、それに対する、いわゆる書き込みできるというワークシートです。それに対してあかつきというのは、教材とはリンクしてないけど内容項目とリンクしています。そこが全然違います。だから、あかつきのノートは内容項目ですから、例えば、今も言いましたように、「信頼・友情」というのであったら、この教材からも「信頼・友情」、別の教材からも「信頼・友情」につながっている。こういうところですから、広い意味ではあかつきの方が使いやすいというのか、深い学びをする視点から言えば、あかつきのノートの方が効果的であると思います。ここは補充資料も入れています。これも違うところです。それから私も当日言ったんですが、道徳教材というのは、特に、中学校の道徳教材はやっぱり読み物中心です。だから、読み物資料が充実している教科書というのは、これはやっぱりあかつきかなと思います。読み物資料としての道徳教材の役割というのは、生徒に「感動を与える」「葛藤させる」「知見や気づきを得る」、また、「批判的な見方を養う」等がありますが、生徒が自己を見つめ、道徳的価値の実現に向かうためには、やっぱり優れた「感動教材」というのが欠かせません。あかつきには、これまでの道徳時間で現場の先生が大事にしてきた教材、生徒が心から感動してきた教材、古典というようなものも収められています。だから、計画訪問なんかに行っても教師が自信をもってその教材を使っています。その教材で本当に生徒の心が動かされています。そういう場面に私も出くわしていますので、やっぱりあかつきの読み物資料というのは、すごいなというふうに思っています。他、どうですか。よろしいですか。

(各委員からよろしいとの声あり)

西本教育長

それでは、道徳については、廣済堂あかつきの教科書を採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。従って、道徳は廣濟堂あかつきといたします。

それでは、議案第14号、令和3年度以降に使用する中学校教科用図書の採択について、確認します。発行者は略称とします。国語、東書。書写、光村。社会（地理的分野）、帝国。社会（歴史的分野）、帝国。社会（公民的分野）、東書。社会（地図）、帝国。数学、啓林館。理科、啓林館。音楽（一般）、教芸。音楽（器楽）、教芸。美術、光村。保健体育、東書。技術・家庭（技術分野）、東書。技術・家庭（家庭分野）、東書。英語、光村。道徳、廣あかつき。以上です。これより議案を採決します。「議案第14号、令和3年度以降に使用する中学校教科用図書の採択について」、承認される方は挙手をお願いします。

（挙手全員）

西本教育長

挙手全員です。よって議案第14号は、承認されました。

日程第6、「議案第15号、相楽東部広域連合教育行政点検評価委員の委嘱について」を議題とします。議案を説明してください。

竹谷教育次長

議案第15号、相楽東部広域連合教育行政点検評価委員の委嘱について。上記の議案を提出する。令和2年8月28日提出。相楽東部広域連合教育委員会教育長 西本吉生。提出の理由。相楽東部広域連合教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱第4条の規定に基づき、委員の委嘱について、教育委員会の承認を求めるものです。相楽東部広域連合教育行政点検評価委員名簿です。笠置町、小林良光さん、元笠置町役場職員。和束町、大西研介さん、元相楽東部広域連合教育委員会委員。南山城村、中下洋子さん、元南山城村役場職員。3名とも継続です。任期は、令和2年9月1日から令和5年8月31日までの3年間です。よろしく申し上げます。

西本教育長

ただ今提案がありました教育行政点検評価委員は、いずれも継続ということです。これより質疑を行います。質問等のある方は挙手を願います。

（各委員から質疑なしとの声あり）

西本教育長

質疑がないようですので、これより採決します。「議案第15号、相楽東部広域連合教育行政点検評価委員の委嘱について」、承認される方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

西本教育長

挙手全員です。よって議案第15号は、承認されました。
日程第7、その他です。

竹谷教育次長

その他の1番、諸報告(送付済)事項の①から④までは、事前に配布しております。2番の次期定例教育委員会の開催日程(案)です。事務局案は、9月23日の水曜日、午後3時から、こちらの会議室です。議題につきましては、事務の点検・評価報告書です。ご都合の方はいかがでしょうか。

(教育長、委員により「9月の定例教育委員会の日程」を協議する。)

西本教育長

次期定例教育委員会は、9月23日の水曜日、午後3時から開催します。
以上で、令和2年度第5回定例教育委員会を終了させていただきます。
本日は、本当に長い時間、ご苦労さまでした。

〈午後3時05分閉会〉

— 了 —